

ドライバー

高速道・一般道共通

- 安全な速度を確保する。また、絶対に制限速度を遵守する。
- 適切かつ余裕ある車間距離を確保する。
- 常に行く先の渋滞や故障車などの存在を見据えて運転する。
- カーブや豪雨、豪雪等の悪天候の見通しが悪い道路状況においては、細心の注意を払って走行する。

一般道

- 停止時は不意な発進を防ぐためにサイドブレーキをひく。
- すぐに止まれるように、足はブレーキペダルに置く。
- 早めのブレーキを心がける。

管理者

ドライバーの心身に負担とならない運行管理

- 余裕のある運行計画の策定、ドライバーの健康・疲労への配慮、ドライバーとの信頼関係構築等。

具体的な安全指導と実践チェック

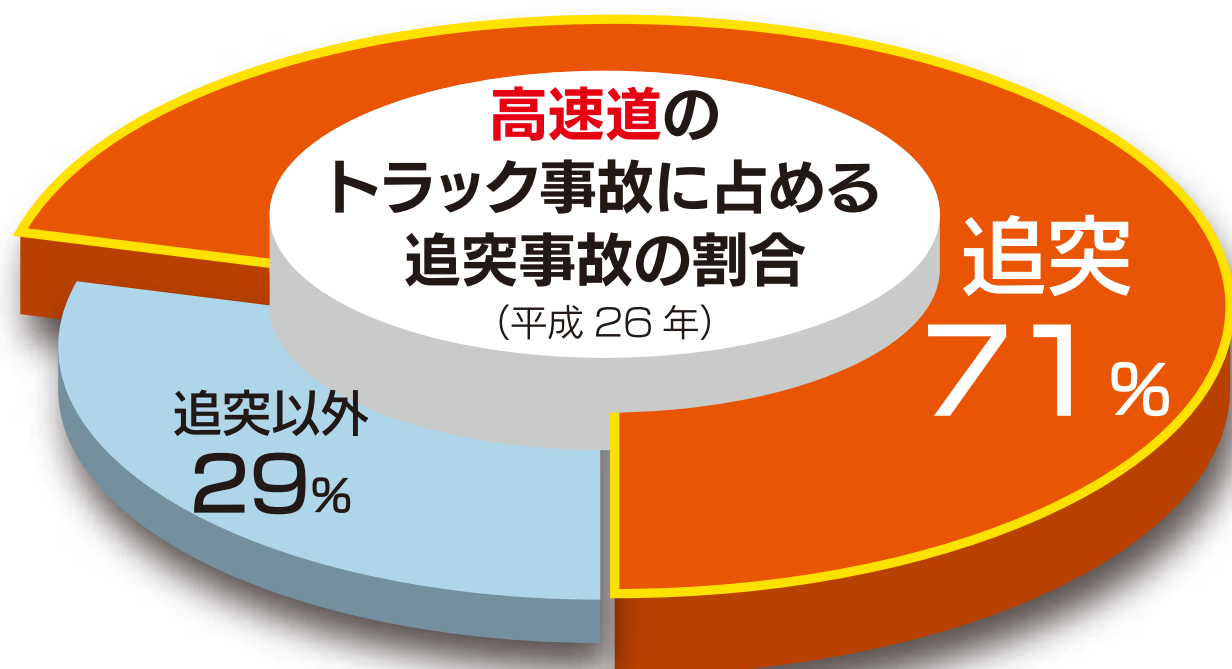
- 理解しやすい具体的指導、理解度・実践状況の把握、ヒヤリハットや事故情報の共有等。

事業者

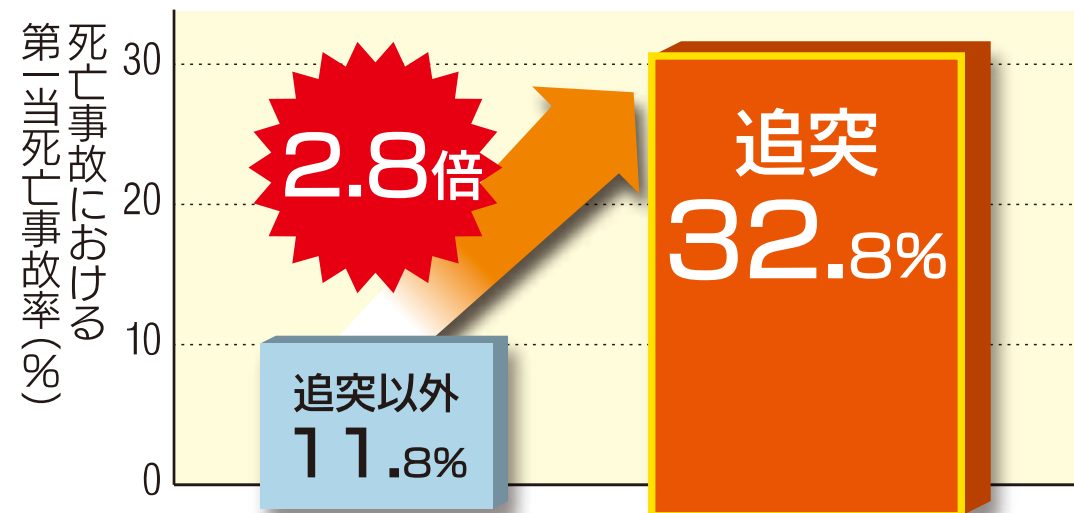
安全風土の確立

- 安全責任を持つ、できることから始める、当たり前を繰り返す。

常に状況変化を予測した運転をする



ドライバーの死亡事故割合 (平成26年)



$$\text{ドライバーの死亡事故割合} = \frac{\text{第1当死亡事故件数}}{\text{死亡事故件数}} \times 100$$

出典：(公財) 交通事故総合分析センター